

令和8年(2026年)7月3日



乾乳処置のポイント～次の泌乳期に備えて～

乾乳期は次の泌乳期を良い乳質で活躍してもらうために重要な時期です。乳牛は乾乳になると、2週間かけて乳頭にケラチンプラグという「栓」を作り、分娩前2週間でその「栓」は融けていくと言われています。

適切な乾乳処置で「栓」を上手に活用し、良い乾乳期を過ごしましょう！

✓乾乳軟膏のチューブは深く差し込みすぎないようにしましょう

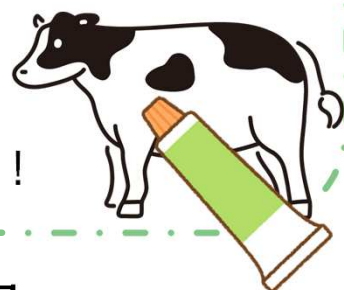
栓のモトを削り取ってしまったり、乳頭口が広がる可能性があります。

✓乾乳までに乳量を落としましょう

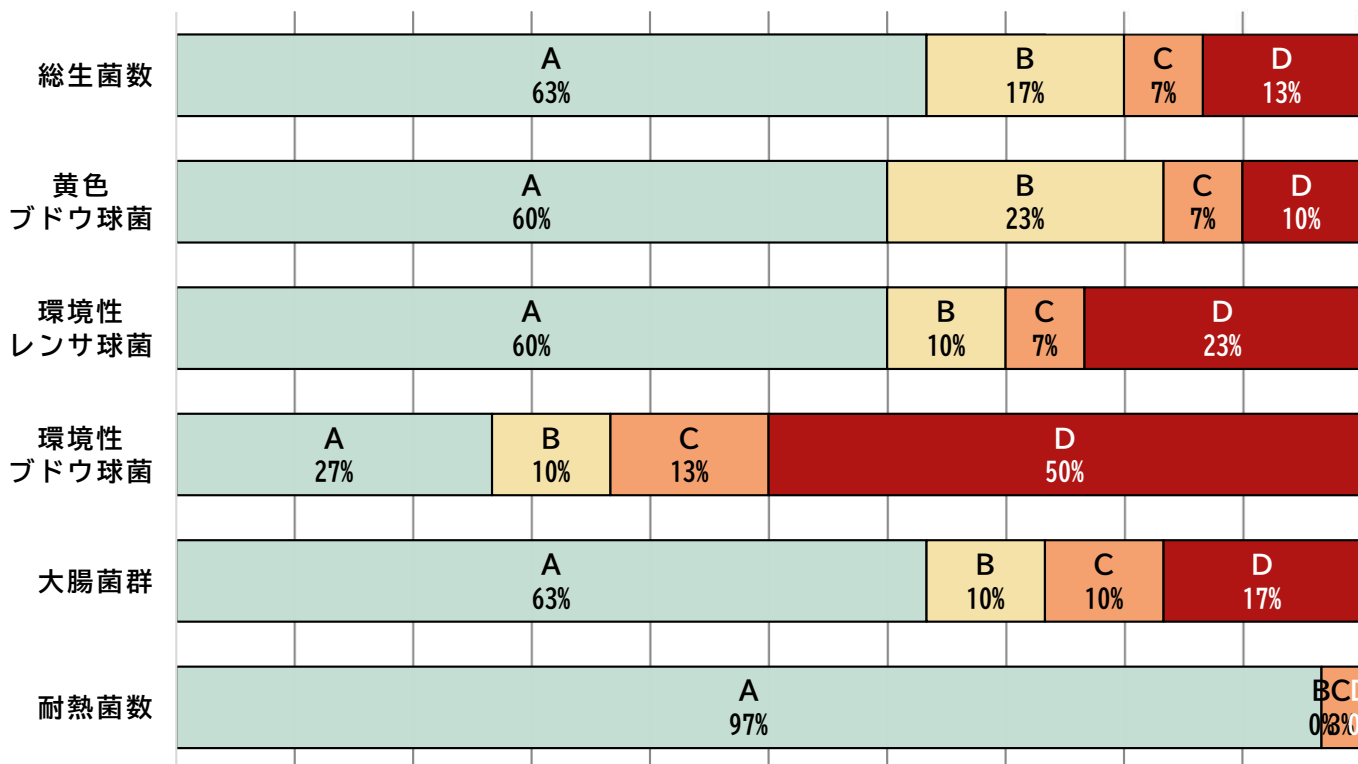
漏乳してしまうと感染リスクが高まります。

✓牛床を衛生的に保ちましょう

栓ができるまでと栓が融け始めた時期は特に要注意！



令和8年度 前期バルク乳検査結果



判定基準 A:正常/目標 B:やや多い C:多い D:非常に多い

黄色ブドウ球菌(SA)は40%(B,C,D判定)の農場で検出されました。
後期のバルク乳検査は10～12月を予定しています。ご協力をお願いします。